

平成24年度の重点課題

- 判定C・Dの児童が約36%以上おり、全体的に県の平均を下回っている種目が多い。
- 特に、「反復横跳び」「ボール投げ」の数値が下回っている学年が多い。
- 低学年の児童に体の柔軟性に課題のある児童が多く、鉄棒やタイヤとびなど自分の体を支え、調整する能力を鍛えていく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 全学年が、柔軟性を高め、体を調節する力を高めるために、体育の時間の始めに準備運動としてグラウンドにある遊具を利用しての運動をサーキット化し、行っていった。
- 柔軟性を高めるために、体育の時間の準備運動の中にストレッチ体操を取り入れた。
- 体の調整力を高めていくために、朝の3分間走、3分縄跳びを取り入れ、カードに記入させながら取り組んだ。また、縦割り班で、大縄跳びの練習をした。
- ボール投げの力を高めるため、低学年において高鉄棒のぶら下がりや振りとび、低鉄棒での鉄棒遊びを多く取り入れ行った。

新体力テストの結果（県平均値（平成24年度）・全国平均値（平成23年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.50	13.50	23.50	27.00	8.50	11.80	124.50	4.50	26.50	第1学年	10.67	17.00	31.67	27.00	13.00	11.97	102.67	4.00	31.00
第2学年	13.00	4.00	24.00	8.00	27.00	10.40	131.00	10.00	33.00	第2学年	14.50	14.00	32.50	28.50	18.00	9.95	123.00	6.00	40.00
第3学年	16.00	39.50	34.00	30.00	55.00	10.10	128.50	21.50	56.00	第3学年	12.33	27.00	29.00	34.00	32.00	10.10	129.67	11.33	46.33
第4学年	13.40	14.80	28.00	29.20	36.80	10.16	140.80	16.60	42.60	第4学年	16.00	17.33	37.00	37.67	37.00	10.70	139.33	12.00	50.67
第5学年	17.50	24.50	27.50	33.00	76.00	9.05	167.50	30.50	61.50	第5学年	17.25	19.50	32.75	25.75	56.50	10.08	147.50	13.75	49.50
第6学年	24.00	24.25	35.50	42.25	66.00	9.15	167.25	22.00	64.25	第6学年	17.20	17.00	41.60	41.20	52.40	9.60	153.00	10.60	54.60

県平均値かつ全国平均値未満

新体力テストの結果（県平均値（平成25年度）・全国平均値（平成24年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.50	13.50	23.50	27.00	8.50	11.80	124.50	4.50	26.50	第1学年	10.67	17.00	31.67	27.00	13.00	11.97	102.67	4.00	31.00
第2学年	13.00	4.00	24.00	8.00	27.00	10.40	131.00	10.00	33.00	第2学年	14.50	14.00	32.50	28.50	18.00	9.95	123.00	6.00	40.00
第3学年	16.00	39.50	34.00	30.00	55.00	10.10	128.50	21.50	56.00	第3学年	12.33	27.00	29.00	34.00	32.00	10.10	129.67	11.33	46.33
第4学年	13.40	14.80	28.00	29.20	36.80	10.16	140.80	16.60	42.60	第4学年	16.00	17.33	37.00	37.67	37.00	10.70	139.33	12.00	50.67
第5学年	17.50	24.50	27.50	33.00	76.00	9.05	167.50	30.50	61.50	第5学年	17.25	19.50	32.75	25.75	56.50	10.08	147.50	13.75	49.50
第6学年	24.00	24.25	35.50	42.25	66.00	9.15	167.25	22.00	64.25	第6学年	17.20	17.00	41.60	41.20	52.40	9.60	153.00	10.60	54.60

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 低学年に、C・Dの判定の子どもが多く、平均より低い種目が5種目以上ある。
- 「反復横跳び」は全学年が県平均かつ全国平均値より低い。
- 「ボール投げ」は全体的に記録が低く、学校全体での取組が必要である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 外遊びを取り入れる。
児童会を中心とした「仲良しデー」を定着させ、異学年で外遊びする機会を増やしていく。
- 体育の時間の始めにサーキットと柔軟運動を必ず取り入れる。また、家庭への啓発を行い、協力をお願いする。
- 個人カードを利用した取組を行う。
11月から縄跳び、1月からは朝の3分間マラソンの期間を決めて継続し、一人ひとりカードを持たせ意欲を高め、個々の体力の向上を図る。
- ボール投げの回数を増やす取組を行う。
雨天時の休憩時間、紙鉄砲や紙飛行機飛ばしなどをさせ、遊びの中に、肩や手首の運動を取り入れた。また、ボール運動の授業では、基本的な「投げる・とる」動作を身に付けさせるための当て等に取り組ませる。

平成26年度の目標値

- 「反復横跳び」の県平均値を越える学年を3学年以上にする。
- 「長座体前屈」の県平均値を越える学年を3学年以上にする。
- 「ボール投げ」の県平均値を越える学年を3学年以上にする。